

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2017年12月4日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	11/28	0	9.6	33.07	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		10	10.1	33.47	0	0	0	0	20	Dt10, Dc10
9.0		20	10.4	33.56	0	0	0	0	0	
		30	10.6	33.79	0	0	0	0	20	Dt20
		40	10.4	33.77	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

11月下旬の水温は、噴火湾湾口部では9.6～10.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2017年11月21日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 10.0	11/17	0	11.3	32.68	0	0	0	0	20	Dt20
		5	11.5	32.84	0	0	0	0	20	Dt20
		10	11.9	33.19	0	0	0	0	0	
		15	12.3	33.42	0	0	0	0	0	
		20	12.0	33.57	0	0	0	0	0	
		25	12.0	33.71	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 16.0	11/16	0	14.3	34.03	0	0	0	0	0	
		10	14.4	34.12	0	0	0	0	0	
		20	14.5	34.09	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

11月中旬の水温は、噴火湾西部では11.3～12.3°C、津軽海峡では14.3～14.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2017年11月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	11/6	0	13.6	33.83	0	0	0	10	40	Dt20, Di10, Dru10
		10	13.3	33.86	0	0	20	0	10	Dt10
		20	13.2	33.87	0	0	10	10	20	Dt10, Di10
		30	13.1	33.84	0	0	0	0	20	Di10, Dru10
虻田 噴火湾東部 9.5	11/7	0	12.7	32.85	0	0	0	0	0	
		5	12.6	33.03	0	0	0	0	60	Dt60
		10	12.7	33.15	0	0	0	0	60	Dt60
		15	13.1	33.68	0	0	0	0	0	
		20	12.9	33.74	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 11.0	11/6	0	12.7	32.84	0	0	0	0	50	Dt30, Di20
		10	12.9	32.96	0	0	0	0	40	Dt30, Di10
		20	13.3	33.43	0	0	0	0	20	Dt20
		30	13.5	33.49	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

11月上旬の水温は、太平洋中部では13.1～13.6°C、噴火湾東部では12.6～13.1°C、噴火湾西部では12.7～13.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)